

プロジェクト名：大分県名護屋湾・磯守ブルーカーボンプロジェクト

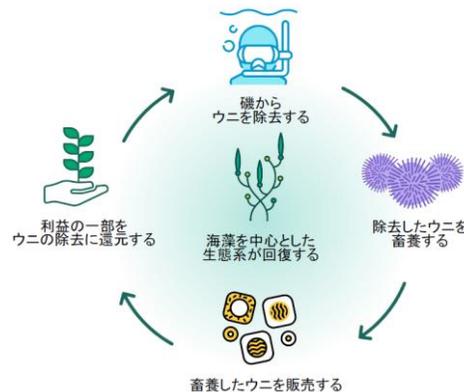
ウニノミクス株式会社・株式会社大分うにファーム・NPO法人名護屋豊かな海づくりの会・ENEOSホールディングス株式会社

◆プロジェクトの概要

- 名護屋湾にはアオサ、マクサ等が繁茂しており、海産動物の生息場となっています
- 藻場はウニの食害を受けていて減少傾向にあります。
- 食害の原因となっているウニの除去を行いました。そして、ウニを除去したことで藻場が回復しつつあり、CO₂吸収量が拡大しています。
- 名護屋湾では2007年8月以降、藻場のある豊かな磯を取り戻すために、地元の小学生と共に磯焼け対策を継続しています。本プロジェクトは取り組みの一部で、2021年9月からムラサキウニ除去による藻場の保全、再生に取り組んだものです。
- 除去したウニを畜養し販売する事業として取り組むことで、藻場の再生を加速させています。
- 今年度はウニの除去のみを対象にしてクレジット化を進めましたが、地元小学生や漁業者の方が精力的に藻場再生事業を取組んでいます。今後はウニ除去以外の藻場再生事業も協働して進めていければと考えています。

◆プロジェクトの特徴・PRポイント

- 2007年から磯焼け対策、藻場の再生を積極的に取り組んでいます。
- モニタリングに際しては一般社団法人モバイルラッコ隊と協力してより**精度が高く信頼性の高いデータの取得**を心がけました。
- 除去した厄介もののウニは新たな地元の特産品として地域振興にも役立てていきます。



ウニの食害によって磯焼け状態となっている

大分の豊かな磯を取り戻し、CO₂吸収量の拡大と地域振興に貢献します。